

粕江市下水道総合計画の改定（①市民参加手続の選択）

資料 2

【市民参加評価】

評価	人数	コメント
A	2人	委員 8 委員会での意見を反映することができている。市民説明会でも、質問と意見を踏まえて計画案の修正を行えた。
		委員10 コメントなし
B	8人	委員 1 標準的な市民参加手続きはなされている。ただし、市民に本計画に関心をもってもらうための工夫の余地はあるのではないか。
		委員 2 委員 3 コメントなし
		委員 4 専門的で難しい内容なので、どのような手法で、説明するのが大事なポイントになると思います。動画やAIを使って、市民にわかりやすい言葉選びや、説明方法を見つけ、市民がキチンと理解できる状態を作って、意見をもらう。市民委員の方も専門知識のある方々と同じ土俵で会議に参加するように説明を受けてないと、理解できていないことを会議で説明する時間になってしまうので、難しい内容のときは特に重要な工夫べき点だと思います。
		委員 5 災害への備え、施設の老朽化、異常気象など、 身近なわかりやすい内容を表に出した表記があるもう少し参加してもらえ と思いました。
		委員 6 専門的知識が非常に求められるので、一般市民はなかなか入り込めない、議論できない面があります。生活の中で感じた経験したことと言えない。ここでの市民委員も専門知識を持つ方である。 一般市民がどのような形で入り込めるか、用語の解説、パンフレットだけでなく事前の勉強会を開くとか工夫 できないか。
		委員 9 審議会等開催については条例通りであり適切である。また、審議会委員構成で6人中3人が公募市民委員とのこと、専門家ではない一般市民の参加を求めたいという市の姿勢を感じた。しかし、下水道行政における喫緊の課題に市民の関心を集めさらなる市民参加を促すためには、 市民説明会開催件数を増やすとか会場を市役所周辺に集中させないなど工夫 が欲しかった。
		委員11 条例に定める基本的なイベントに対して、担当部局としての意図が垣間見え、市民参加を取り込もうとする姿勢が感じられた。
C	1人	委員 7 コメントなし

※評価内容

- A 優れている
- B 適切だが、工夫の余地がある
- C 適切とは言えず、改善が必要

粕江市下水道総合計画の改定（②市民参加のスケジュール）

【市民参加評価】

評価	人数	コメント
A	3人	委員4 スケジュールは、適切だと思う。
		委員9 市民説明会開催後にパブリックコメント期間を長く設定することにより、 説明会での質疑応答を踏まえて意見・提案やすいようにしたとの配慮がみられた。
		委員10 コメントなし
B	8人	委員1 市民説明会から3週間程度のパブリックコメント期間を設け、募集をLINEで周知している。ただし、パブリックコメントの提出者は1名。 数が多ければ良いということではないが、市民に関心を得てもらう工夫の余地はあるのではないか。
		委員2 説明会は2回あるものの、1回目の翌日の午前中であり、余りに直近である。 場所、時間共に工夫が必要。 また、説明会は市の防災教室のようなものとタイアップしてもよいのではないか。また、町会の集まりや安全会の行事に組み込むことも必要ではないか。
		委員3 コメントなし
		委員5 時間帯は、会社員の方と、それ以外の方で分けてスケジュールを計画したのはよかったと思いますが、 対象者に合わせた告知が必要だったのかもしれない。
		委員6 参加人数はともかく、 市民説明会をもっと早期に開くべき であろう。ほぼ決定段階で開いても、形式的になってしまう。
		委員7 コメントなし
		委員8 スケジュールにもう少しゆとりを持たせてもいいように感じられた。
		委員11 予定された各イベントを予定どおり実施できた。
C	0人	

※評価内容

- A 優れている
- B 適切だが、工夫の余地がある
- C 適切とは言えず、改善が必要

狛江市下水道総合計画の改定（③事業内容や市民参加手続に関する市民等への情報提供）

【市民参加評価】

評価	人数	コメント
A	2人	委員1 市民委員の参画により、市民目線を取り入れることができている。また、 市民委員に狛江市の下水道の現状について理解を深めてもらうため、施設見学も実施 したことなどを評価。
		委員10 コメントなし
B	8人	委員2 事業内容は、本来市民の関心が高い分野でもある。市の広報だけでなく、駅前のデジタルサイネージの利用や市役所、こまえみらいテラス・公民館等に デジタルサイネージで広報 することにより、若者層や忙しい勤労者層に情報提供できるのではないかなど工夫が必要である。
		委員3 コメントなし
		委員4 資料が多すぎても、読むのも大変。説明が長くても、時間が長くて参加が難しくなる。参加したくなるような情報の出し方を、今どきのAIで動画作成なども視野に入れてみるのはどうか？（Runway.Pikaなど）
		委員5 コメントなし
		委員6 パンフレットなど市民向けに作成された工夫が見られるのは市民に寄り添った情報提供と評価する。生活基盤に密接に関係する事柄だけに多くの意見を聞きたい。 広報などで特集を組めばさらに目に入るのではないか。
		委員7 コメントなし
		委員8 市民説明会の告知はしているようだが、参加人数が少なく、効果的な告知の仕方を検討する必要がある。情報提供の連携も必要だと考えられる。LINEでの告知もわかりやすくてよいのだが、通知をオフにしている人や気が付かないケースがあるように思う。
		委員11 テーマの専門性を踏まえ、周知期間や説明資料の増補の工夫 をされている。
C	1人	委員9 令和8年1月15日号広報による説明会等の案内は日程・開催場所が中心で内容にはふれていない。情報提供として、 狛江市の下水道状況を具体的に示し、改善に向けて今どきのようなことを検討しているのか広報・HPに掲載 し参加者を募れば市民の注目を集められると思う。例えば下水道関係職員が昭和50年頃は28人だったが令和7年度は10人、下水道設備の老朽化他多くの課題がある。狛江市の対応として適切な人材配置やウォーターPPPの導入を検討しているなど具体的に掲載すれば説明会参加を誘導できたのではないか。

※評価内容

- A 優れている
- B 適切だが、工夫の余地がある
- C 適切とは言えず、改善が必要

狛江市下水道総合計画の改定（④総合評価）

【市民参加評価】

評価	人数	コメント
A	1人	委員10 コメントなし
B	8人	委員 1 検討委員会で、一般市民からの目線で参加してもらい、専門的知識がない方向けの計画づくりを行おうとされたことは評価できる。ただし、こういったインフラ整備の計画は、全市民にとって身近なものであるにもかかわらず認知は低いのは残念で、 今後こういったインフラ整備の計画策定のタイミングで、より広い市民の関心と参加を促す工夫は必要 と思われる。
		委員 2 下水道の問題はマスコミでも取り上げられ、市民の生活に直結しており、関心は高いはずである。情報の提供の工夫が必要である。 市民に現状や計画を理解してもらう機会として、安心安全課と狛江消防署が自衛防災会・町会等の会議を開くときに、広く関心ある方たちに情報発信できるよう説明会の機会を持つなど、 市行政の中でつながりをもって説明会の場所・機会・方法を検討 することが必要ではないか。また、説明会資料は繰り返しも多いので、計画重要部分をストレートに示していただく等、 素人が理解しやすい工夫 があるとありがたい。
		委員 4 市民にとって、難しい内容と感じないような説明ができると、参加しやすくなるのだが、先進的な情報提供の方法としてAIなどの利用も試してみても良いのは？これまでと違う方法を色々やってみることが、工夫なのだと思うので、やったことがないことに挑戦してみていただきたい。
		委員 5 マンホールカードなどはとてもとっかかりやすいと思いました。障がい者や子ども、高齢者が安心して災害への備えなどの情報を得られるような工夫が必要だと思いました。小学生新聞のようなものを下水道課で（小学生向けではなくても）関心を持ってもらえる素材としてチラシのようなものを作るのもありだと思いました。
		委員 6 この問題について、市民のどれほどの方が知っているのか、まずは疑問である 。生活に密着しながら、距離のある事柄だけに市がどのような形で問題提起するのか、市民が参加出来るようにその余地を作ることができているかが問われるところである。
		委員 8 やはり参加人数が少なすぎるように感じる。その点を改善していく必要がある。
		委員 9 内容が専門的であるため、説明会に下水道専門の大学教授や公営企業会計の専門家を呼び、より分かりやすくするなど配慮がみられた。説明会参加者意見が計画改定に反映されたのは素晴らしい。しかし、市民全体への情報提供量が少ない印象を受けB評価になった。令和7年度評価に直接影響することではないが、 今後の水道料金値上げも見据えて、ワークショップを継続的に開催するなどして市民の理解と協力を得るよう検討 して欲しい。
		委員11 一連の対応はされており、着実な対応に好感。上下水道問題は、施設の老朽化の進行に伴い、担い手の継承と確保に加え、利用者数の減少と支え手不足が顕著になると予想される代表的な生活インフラとして今後の+課題も大きい。継続的に市民の巻き込みを意識して取る組んで欲しい。
C	2人	委員 3 下水道総合計画の改定に関心を示す人は少ないが、下水道使用料金を値上げするとなると多くの関心があると思います。今後、値上げに関する説明会が必要になるかと思われますが、そのための事前資料として計画書という位置付けなののでしょうか。全市民に直接関連する事柄であることから、タイトルの改善が必要かと思われます。
		委員 7 そもそも、平成21年からの政策事案が今頃討議されるのは時間かかりすぎ。 人口減少は下水道の老朽化は全く関係なく、埼玉の草加の事案のように道路が陥没してからでは手遅れなのは。 市民に意見を求めるよりも本案は行政がスピード感をもって主体的に対応すべき事案 と感じた。

※評価内容

- A 優れている
- B 適切だが、工夫の余地がある
- C 適切とは言えず、改善が必要